



町長新年の御挨拶

輝やかしい一九六八年の新春を埋え、岡垣町一萬四千の町民の皆さんおめでとうございます。歴史的社會の發展は科学の進歩と共に加速度的發展を遂げ、総べての生産構造は驚異な変革を現わし、殊に都市近郊の岡垣町は町民各位の協力と努力に依り、県下稀な發展の道を邁進しています。教育施設に於いては中学校、小学校四校が四十二年度に於いて防音校舎の建設も完成

山田校のアーレ建設を皮切りに、各校の建設も着々計画の緒に達しつゝあり、交通に於いて待望の海老津・波津線の完全補装がなされ、環境衛生に於いて四十三年三月（伝染病）防音冷暖房病院の竣工と、塵埃処理場、火葬場の整備が計画されています。

産業界に於いては、農業は、米果樹、畜産と、農業構造改善事業の成果をみつゝあり、漁業は波津漁港の整備拡張計画が立案され、商業に於いては近代的なマーケット、或は商店の出現等総べての点に活気を帶びつつあるのであります。

東部地域のベッドダウンは上水道の完備と共に著しく開拓され中部地域の海岸道路の整備西部地域の観光的立地条件の進歩等

十二月二十日より役場職員の勤務時間が次のとおり、変更されましたのでお知らせします。

記

一、平日（月曜日～金曜日まで）午前八時三十分から午後五時まで

---

電話料金の支払、振替制

電話料金を郵便局まで支払いに行くのに「遠くて」「忙しくて」また、支払期限を忘れて」と、よくお聞きしますが、農協と、漁協、信用金庫、銀行等から自動的に支払いができる「自動振

## 役場勤務時間変更お知らせ

我が明治初年より幾度か  
困難に逢いながら、今日この産業の発達、文化の伸展を見るに至つたのは、一つに国を挙げ教育に邁進し続けた賜物であると確信いたします。實に教育の振興こそ人格形式の大支柱であり且つそれによつて町を興し、國を建てる必須の源泉が湧出づるものであります。

翻つて本町の現状を見ますと町内小中学校は本年度内に完工の戸切小学校を含め、三階建鉄

一九六八年元旦に当り、町民の皆様に心から新春の御慶びを申上げます。

筋防音校舎がその環境に適応して建設され、それに伴う諸施設も着々進捗しつゝあります。一面児童のための保育園、私設幼稚園も運営され、児童より生徒まで教育の殿堂は築き上げられましたことは誠に喜びにたえます。

年頭に当たり

岡垣町教育委員長 加藤 健治

同様に全城域の発展の基礎は第  
かれつゝあり、新年を迎えると  
共に町民各位益々健康で明るい

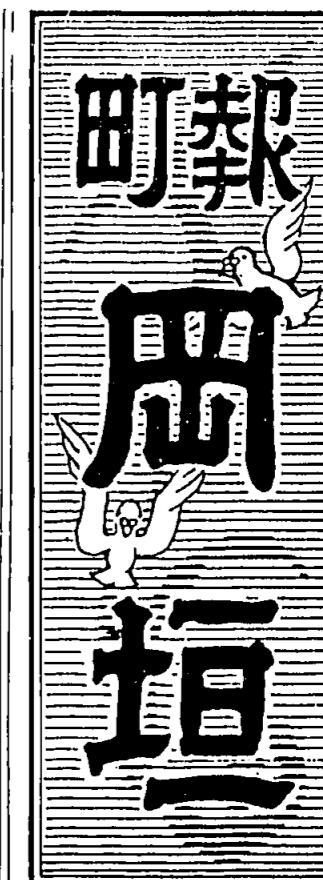
岡垣町長 辻 守莊

発行所  
岡垣町役場  
責任者  
岡垣町長辻守莊

---

印刷所  
有限会社 大和印刷所  
電話（宗像）2027番

私も町長就任後既に三ヵ年目を迎え、心身共に益々元気であります。粉骨碎身町政に務め、町民各位の期待に添うべく頑張る覚悟であります。御指導、御鞭



# 自衛官募集

陸上自衛隊員  
海上自衛隊員  
航空自衛隊員

受付期間 毎日

受付場所 役場総務課

## 簡単な服装で 一月十五日 成人の日

昭和二十三年中に生れた方の成人式を、一月十五日午前九時半から岡垣中学校で行いますので、該当者は全員参加下さい。

記

1、昼食後コーラスとフォークダンスをやりますから、洋服で参加下さい。

2、年始に婦人会の方から出欠

3、無届の方は欠席とみなし、当日の昼食は用意しません。  
4、当日出席された方は講演会が終るまでは静粛にして下さい。

## 「犬は人に迷惑をかけずに正しく飼いましょう」

### ●畜犬取締り条例が制定される

最近犬による被害が各地に発生し、大きな社会問題となっています。我が家のように可愛いい犬でも飼い方を誤ると、人に咬みます。我が子のように可愛いい犬でも大変人に迷惑をかけます。犬を正しく飼うために十二月十四日の町定例議会において、畜犬取締り条例が可決されました。かならず次の条項に違反しないように御注意下さい。

× × × ×

### (目的)

第一条 この条例は、畜犬が人家畜等に害を加えることを防止し、もって社会生活の安全と衆衛生の向上をはかることを目的とする。

岡垣町畜犬取締り条例

(畜犬が人、家畜、その他(以下「人畜等」という。)に危害を加えないようにけい留すること。  
(畜犬が道路、公園その他の公共の場所、又は他人の土地、もしくは物件を不潔にし、傷つけ、もしくは荒ら

(定義)  
第二条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。  
(1)飼主、現に犬を所有し、又は管理するものをいう。  
(2)畜犬、飼主のある犬をいふ(けい留、畜犬を丈夫な鎖、もしくは綱でつなぎ、又は「おり」もしくは「さく」の中に入れておくこと)。

(遵守事項)  
第三条 飼主は、次の各号に定める事項を守らなければならぬ。  
(1)畜犬が人、家畜、その他(以下「人畜等」という。)に危害を加えないようにけい留すること。  
(2)畜犬が道路、公園その他の公共の場所、又は他人の土地、もしくは物件を不潔にし、傷つけ、もしくは荒ら

### (清潔の保持)

(清潔の保持)  
第五条 飼主は常に畜犬の飼育をしている場所の内外を清潔にして、畜犬の糞尿、その他の汚物を衛生的に処理し、昆虫の発生の防止駆除に努めなければならない。

(こう傷犬の届出及び検診)  
第六条 飼主は、畜犬が人をかぶるときは、すみやかに町長に届け出るとともに、当該畜犬を獣医師に検診させなければならない。

(罰則)  
(1) 第六条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(2) 第八条の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(3) 正当な理由がなく第九条第一項の規定による職員の立入調査を拒み、もし反したときは、これを提示しなければならない。

(4) 第八条の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(5) 第一〇条第一項の規定により、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(6) 第六条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(7) 第六条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(8) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(9) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(10) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(11) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(12) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(13) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(14) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(15) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(16) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(17) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(18) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(19) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(20) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(21) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(22) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(23) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(24) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(25) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(26) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(27) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(28) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(29) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(30) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(31) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(32) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(33) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(34) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(35) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(36) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(37) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(38) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(39) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(40) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(41) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(42) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(43) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(44) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(45) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(46) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(47) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(48) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(49) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(50) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(51) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(52) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(53) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(54) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(55) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(56) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(57) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(58) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(59) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(60) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(61) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(62) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(63) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(64) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(65) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(66) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(67) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(68) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(69) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(70) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(71) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(72) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(73) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(74) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(75) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(76) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(77) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(78) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(79) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(80) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(81) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(82) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(83) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(84) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(85) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(86) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(87) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(88) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(89) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(90) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(91) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(92) 第一〇条第一項の規定に違反したときは、三万円以下の罰金、又は科料に処する。

(

## 附 則

この条例は公布の日から施行する。  
以上

“あなたの犬は、あなたの貴任と、あなたの愛情で正し

く飼いましょう。

判らないことがあります。したがってほしいものです。

持許可を受けておかねばなりません。

二、所持許可のほかに狩猟免許を受けなければ狩猟はできません。

三、銃ははだかのまま携帯運搬することはできません。銃袋に入れて携帯運搬して下さい。

また「たま」をこめて携帯運搬することもできません。

四、鳥獣保護区、休憩区、道路

神社、寺院の境台、墓地、家

搬することもできません。

五、狩猟は日の出後から日の暮

れまでの時間にしか出来ません。

六、獵銃類は他人に貸してはな

りません。休憩区等わからな

い点は、最寄りの派出所か駐

在所または警察署にお問合

せ下さい。

## 花 束

## 交通事故相談について

岡垣町保育園では十一月二十三日の勤労感謝の日、園児一同花束と自由画（園児が描いた）を在所等を訪問、日夜仕事に精出しておられる大人に感謝の意を表した。

岡垣中央幼稚園でも十一月二十二日前記同様花束を贈呈して町内官公署に感謝の意を表された。

岡垣町役場でも十一月二十二日前記同様花束を贈呈して町内官公署に感謝の意を表された。

屋の密集地帯、または人に危害を与えるおそれのある場所では獵銃などは発射できません。

二、所持許可のほかに狩猟免許を受けなければ狩猟はできません。

三、銃ははだかのまま携帯運搬することはできません。銃袋に入れて携帯運搬して下さい。

また「たま」をこめて携帯運搬することもできません。

四、自転車の前方には灯火を、後方には反射鏡をつけるようにします。

五、狩猟は日の出後から日の暮れまでの間にしか出来ません。

六、獵銃類は他人に貸してはなりません。休憩区等わからないうまでは、最寄りの派出所か駐在所または警察署にお問合せ下さい。

七、裁判について。

（総務課）

一、交通事故（不法行為）と損害賠償

二、人身事故の場合（損害賠償請求と自賠責保険）

三、物損事故の場合（車両、対物賠償保険）

四、自賠法について（他の社会保険との関係、仮渡金制度内払制度、被害者請求）

五、被害者として示談交渉する場合。

六、調停について。

七、裁判について。

（相談の内容）

本町の職業安定協力員に戸切百合野の岡村敬次氏がなられています。

協力員は公共職業安定所長の指示を受けて求職者の相談、事業主に対する雇用の勧奨等を行なっています。

又事故の類型では追突事故二二%背面歩行者を認めたなら、まわりの人みんなで運転をやめさせましょう。

三、酒類販売業者は車を運転中の人は酒を売らないよう努めましょう。

二、酒を飲んで車を運転する人を認めたなら、まわりの人みんなで運転をやめさせましょう。

三、忘年会や祝い事など、あらかじめ酒の出ることが予想されるところに行くときは、他の交通機関を利用しましょう。

一般の人へ

一、車を運転中の人、またはこれから運転しようとする人は、絶対に酒をすすめないようになります。

二、酒を飲んで車を運転する人を認めたなら、まわりの人みんなで運転をやめさせましょう。

三、酒類販売業者は車を運転中の人は酒を売らないよう努めましょう。

今年もつぎのようなことに注意して犯罪のない明るい楽しい新春を送りましょう。

皆さん明けましてお目出度うござります。

○いわゆる押売等の防止

正月は獅子舞や猿まわし、あるいは物売りが無理強いするいわゆる押売事犯が多くなります。このような場合はハッキリ断り家に入れない、相手にならない

○狩猟について

正月休みを利用して銃猟をする人が増えますが、正月休みを利用して銃猟をする人が増えますが、

一、獵銃等は県公安委員会の所

二、特別委員会の選任について

第七回臨時町議会は、十一月二十四日前九時三〇分、岡垣町議会議事堂に招集され、会期は一日と決定。次の議案が可決された。

議案第七十六号

設置したいので岡垣町委員会条例（昭和二十四年条例第三号）第二条により特別委員の選任を求める。

第三回臨時町議会の選任について

岡垣町役場庁舎建設委員会を設置したいので岡垣町委員会条例（昭和二十四年条例第三号）第二条により特別委員の選任を求める。

議案第七十七号

昭和四二年度旱害等による町民税減税条例。

提案理由

昭和四二年度旱害等による町民税減税条例。

昭和四二年度旱害等による町民税減税条例。

○万場一致で原案可決。  
必要なため。

○万場一致で原案可決。  
岡垣町内道路（里道）の廢止について。

道路法第一〇条第一項の規定により、岡垣町道路（里道）を左記のとおり廢止するものとする。

記

起点 高倉字関前一一三〇ノ二  
終点 高倉字関前一二二九ノ一  
延長 七十四米  
列員 一、四米  
目的 里道の変更の為  
・万場一致で原案可決  
議案第七十九号

戸切小学校建設用地内墓地廢止について

戸切小学校建設用地として取得した左記土地（墓地）を地目変更するので墓地、埋葬等に関する法律（昭和二十三年五月三十日法律第四十八号）第一〇条第二項の規定に基き町議会の議決を求める。

記

戸切字竜王一二一三  
墓地 六歩 山村に変更  
戸切字竜王一二一四  
墓地 六歩 山村に変更  
・万場一致で原案可決  
議案第八〇号

湯川村道新設工事請負契約について

岡垣町契約条例の規定に基き指名競争入札に付した林道新設工事について下記のとおり請負契約を締結したので、町議会に報告する。

一、契約の目的  
二、契約の方法  
三、契約の金額及び契約の相手方

・敷地造成工事四、七〇〇千円  
・電気工事、二、三九一千円  
○合計 五、〇三五六千円  
四、工期  
敷地造成工事については  
昭和四二年一月九日より  
その他工事については  
昭和四三年二月二九日まで。

五、支出科目  
一般会計農村水産業費の林道新設費より  
で

四、工期  
昭和四十二年十一月一〇日から昭和四十三年三月二〇日まで

五、支出科目  
一般会計農村水産業費の林道新設費より  
で  
万場一致で原案可決

議案第八十一号  
戸切小学校防音建築請負契約に

ついて

岡垣町契約条例の規定に基き指名競争入札に付した戸切小学

校防音建築工事について左記のとおり請負契約を締結するため

地方自治法第九十六条第一項第

五号の規定により議会の議決を

求める。

記

戸切小学校移転防音建築工事

二、契約の目的  
指名競争入札による契約

三、契約の金額及び契約の相手方

方

岡垣町海老津小西工業株式会

社、小西直行

○建築工事二九、〇九〇千円

福岡市下白井柴垣一四九四ノ

二株式会社案浦組、案浦兼雄

○給配水換気工事六、三四一千

円福岡市赤城一丁目一三一三

八株式会社ツカダ製作所遠藤

剛

○電気工事、二、三九一千円

福岡市舞鶴一丁目四番七号

電気興業株式会社、木村保寿

○鋼製建具工事六、六六四千円

福岡市大名二丁目一一番一九

日本建鉄株式会社 堀江昌次

○設計委託料一、一七〇千円

福岡市東中洲高瀬ビル内

和田設計コンサルタントKK和

田吾市

四、工期

一般会計戸切小学校建築費よ

り

○満場一致で原案可決。

議案第八三号  
岡垣町契約条例の規定に基づき、指名競争入札に付した公営住宅建設工事（一種住宅八戸二種住宅四戸）について、左記のとおり、請負契約を締結したの

で、町議会に報告する。  
記

一、契約の目的  
公営住宅建設工事一二戸

二、契約の方法  
指名競争入札による契約

三、契約金額及び契約の相手方

四、工期  
昭和四二年一〇月一一日より

五、支出科目  
一般会計 公営住宅建設費より

○満場一致で原案可決。

一月二八日庁舎建設特別委員会を開催、左記のとおり正副委員長が決る。

記

八幡区黒崎町三丁目

宗像郡福間町 九州電気工事

○電気工事 二九〇千円

○水道工事 二八五、五百円

岡垣町西山田、土屋隆信

○電気工事 二九〇千円

宗像郡福間町 九州電気工事

○電気工事 二九〇千円

岡垣町西山田、土屋隆信

## 龜石之碑

内浦小学校講堂の西に写真的龜石があり、簡単な碑文も書いてある。

昔平清盛が宗像神社に鐘を寄進しようとした。支那から舟で鐘を運んできましたが、海の龍神が鐘を欲しがり、鐘崎の海で舟を転覆させ、鐘を奪ってしまった。龍神はその代りに龜に翁の面をくわえさせ、内浦学校南の石象の高地に上らせた。

内浦平山には猿樂師がいて、毎年八月十五日の宗像神社の祭には猿樂を勤めていたが、龜がくわえた翁の面をとり、宗像神の不思議。

内浦学校講堂建設の時、その土をとり埋めたたてたので、現在地に移している。

龜石碑

